

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット
 情報公開の方法 以下のURLで公開する

URL <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html>

承認番号	
研究課題名	Fontan手術後の胃食道静脈瘤の発生頻度・予測因子・治療効果に関する研究
研究の意義・目的	Fontan手術後の長期的な合併症として胃食道静脈瘤が知られていますが、その発生頻度や治療の有用性等についてはほとんど情報がありません。胃食道静脈瘤は出血のリスクがあるため、静脈瘤の発生頻度やスクリーニング検査ならびに治療のタイミングを理解することは、術後の長期的な診療を円滑に進める上で重要です。本研究は、術後の胃食道静脈瘤の発生頻度や治療の選択肢・効果に関する情報を調査し、胃食道静脈瘤の予測に有用な指標の解析を目指します。
研究を行う期間	承認後 ~ 2021年03月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2010年04月01日～2019年09月20日に大阪市立大学医学部附属病院の小児科ならびに大阪市立総合医療センターで、腹部造影検査を受けられたFontan術後患者の方が対象です。
お願いする内容	共同研究機関から情報の提供を受けて研究します。 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。
	血液検査・画像検査データ・診療記録を使わせていただきます。
頂いた試料・情報の提供方法	本研究では頂いた情報は研究目的での提供はしません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 准教授 徳原大介
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 大阪市立総合医療センター小児循環器内科 研究代表者名：大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 准教授 徳原大介
代表施設のURL	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学HP http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html
研究の成果を公表する方法	日本肝臓学会、日本小児科学会、日本小児栄養消化器肝臓学会および米国小児栄養消化器肝臓学会にて発表するとともに、学術誌に論文として公表し、本学小児科講座のホームページにも成果の概要を公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	受付方法：電話あるいはメール 電話：06-6645-3816（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 医局） メール：m1155519@med.osaka-cu.ac.jp 担当者名：徳原 大介